

新聞に親しもうとする児童の育成

高砂市立米田西小学校 校長 松尾 光明
教諭 瀧下 隼平

1. はじめに

本校は、平成 27 年度から N I E の実践指定校として、新聞を活用した授業実践に取り組んだ。本校の児童は毎日、朝の読書活動の成果もあり、読書習慣が身に付いている。しかし、新聞を読む習慣がついている児童は非常に少ない。また、新聞を購読している家庭も多くなく、新聞を購読していても、新聞に興味を持ち、毎日、新聞を読む児童が少ないのが現状である。

そこで、新聞に興味を持ち、進んで新聞を読む児童の育成をねらいとして実践に取り組むことにした。

なお、本年度は第 4 学年 2 学級（57 人）において実践を行った。

2. 実践の内容

(1) スクラップ新聞を作ろう

初めは、自分が興味を持った記事を切り抜いてスクラップにし、記事に関する感想や意見を書き込んでいった。実践当初は、スポーツや身近なことに関する記事を選ぶ児童が多かったが、新聞に慣れてくると、各教科の内容や社会の様子が分かるものも選ぶようになってきた。

ただ、感想を書くだけで終わるのではなく、自分なりの考えや疑問点も書けるように指導した。また、互いのスクラップ新聞を見せ合い、意見や感想を言い合う時間を設けることで、自分の考えを伝えようとする姿勢が育ってきたように感じる。



(2) 新聞記者派遣事業

11月24日に毎日新聞神戸支局から土井和弘支局長をお招きし、4年生を対象に「新聞の読み方・作り方」について出前授業を行っていただいた。

土井支局長から、新聞社や記者の仕事内容、新聞の読み方、記事の書き方、レイアウト、見出しの付け方などの説明を受けた。新聞記事の特徴として、いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように(5W1H)が盛り込まれている点や、見出しの重要性、記事で伝えたい内容を簡潔にまとめた文章が上段にあることなどを学習した。

講演を受け、新聞の作り方や取材の話などを教えていただき、児童たちはこれまで以上に新聞について関心が持てるようになった。

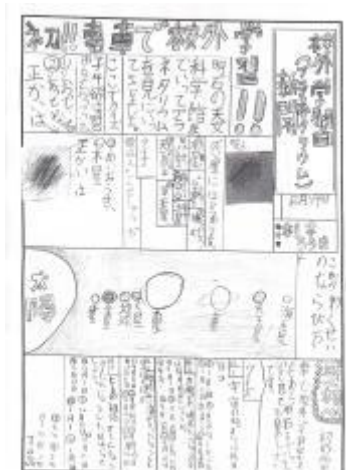
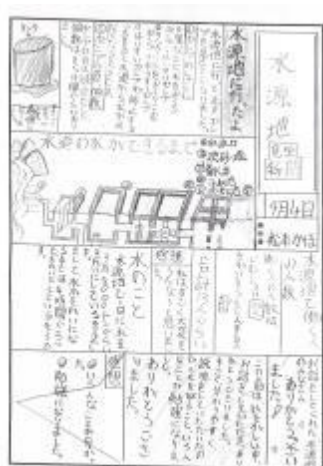
また、教えてもらった新聞の書き方のポイントを、校外学習などの新聞作りに生かすことができた。



(3) 校外学習新聞作り

4年生では、水源地、美化センター、消防署、プラネタリウム見学の計4回の校外学習があり、これらで学んだ事柄を新聞形式でまとめを行った。

児童たちは、写真やイラスト、見出しなどを工夫して、読み手に分かりやすく伝わる新聞作りに取り組んだ。



(4) 「自分新聞」作り

4年生の総合的な学習の時間に、「二分の一成人式」を行い、10年間の思い出や家族への感謝の気持ち、将来の夢について考え、自分のことを新聞形式でまとめる「自分新聞」作り活動を行った。

自分のこれまでを振り返り、成長過程を年表にまとめ、名前の由来や得意なことや、好きなもの、家族について、将来の夢などを整理してまとめた。

できた学級全員分の「自分新聞」を1冊にまとめた。児童たちは、お互いの「自分新聞」を読み合い、友達の新たな一面を発見したりした。こうした自分文集を基にした交流は、児童同士の関係づくりにつながった。

(5) 新聞記者からの取材体験

本校では、本年度から国チョウ「オオムラサキ」のための蚊帳を校内に設けており、児童たちは蚊帳の中でオオムラサキを触ったり、観察したりしている。新聞作りを学習するために、オオムラサキの蚊帳の取り組みについて、神戸新聞社に取材の依頼を行ったところ、記事が新聞に掲載されることになった。

4年生の児童たちは、神戸新聞社の記者からオオムラサキの蚊帳について質問をされることで、記者の取材の仕方について体験した。

児童たちは新聞記事になるまでの流れや記者の取材の様子、記者の仕事について学習した。自分たちが受けた取材内容が新聞に掲載されたため、新聞にさらに興味を持てたようであった。

取材翌日の朝刊に記事が載り、取材から新聞が配られるまでの時間の早さにも驚いていた。



(6) 新聞を通して防災学習

阪神・淡路大震災や東日本大震災が発生した時期には、震災や防災に関する記事を掲載する新聞社が多かった。そこで、防災についての記事を集め、新聞記事を使った防災授業を行った。

3月11日に発行された「毎日小学生新聞」には、地震が発生したときの避難の流れや災害に備えて普段から準備しておくこと、新聞の活用法が書かれており、この記事を基に防災教育を行った。また、災害に役立つ新聞活用法の記事を参考に、新聞のできる代用品のスリッパ作りに挑戦した。手作り作業などを通して、児童たちは防災についてより興味を持つことができた。



3. 成果と課題について

○ 成果

- ・これまで、あまり新聞を読まなかった児童も、休み時間や読書の時間に新聞を手に取り、記事を読むようになってきた。新聞を読むことで、身の回りや社会の出来事について興味・関心を示す児童が増えてきた。
- ・校外学習などの「新聞を書く活動」を通して、自分の考えや伝えたいことを表現できるようになってきた。また、レイアウトや見出し、図の使い方なども意識できるようになってきた。
- ・人に分かりやすく伝えるために、5W1Hを意識して文章を書いたり、構成を考えたりする児童も増えてきた。

○ 課題

- ・児童が新聞を読む際に、スポーツなどの決まったジャンルしか読まない場合があるので、いろいろなジャンルに関心を持てるように、教師が働きかける必要があった。
- ・小学生にとって新聞は読みにくい言葉がたくさん入った文章なので、5W1Hを意識した読み方の指導が必要であると感じた。
- ・新聞に親しみを持って読む児童が増えてきたように感じるが、実践前と実践後にアンケートなどを行っておらず、児童たちの新聞に対する興味が、どの程度変化したのかを具体的に知るために、実践の前と後にアンケートを取って比較すれば、より具体的に分かるのではないかと感じた。